

東洋学園

東洋学園の校友をつなぐ

だより

平成
24年

Vol.1

CONTENTS

理事長よりごあいさつ	1
学部再編のお知らせ	2,3
東洋学園大学と 中国・南京大学金陵学院の国際交流	3
授業・ゼミ活動Report	3
ホームカミングデーのお知らせ	4
前回のホームカミングデーレポート	5
活躍中の卒業生たち	6
クラブ・サークル活動Report	6
大学院のお知らせ	7
Information	8

卒業生のみなさまを「校友」として—— 85年の歴史ある東洋学園の新たなるスタートです



東洋学園理事長
江澤 雄一

卒業生のみなさま、お元気ですか。

東洋女子歯科医学専門学校、東洋女子短期大学、そして東洋学園大学、それぞれの卒業生のみなさまに、『東洋学園だより』をお送りいたします。

学校法人東洋学園は1926年の東洋女子歯科医専の開学以来、85年にわたる歴史があります。各分野で活躍する卒業生の数は3万人を超えました。本学園が今後さらなる発展を遂げるためには、卒業生とのつながりを深めていくことが、重要であると考えています。こうした卒業生の方々との絆を深めたい、東洋学園大学の現状を卒業生のみなさまに知っていただきたい、そして本学園として何か卒業生の方々のお役に立てることがないか考えたい、という思いから、本年3月に「校友会事務局」を立ちあげました。どうぞ何なりとお気軽にご連絡ください。今お手にとっていただいている『東洋学園だより』の発行をメインに、定期的にホームページ、メールマガジンなどで東洋学園大学の近況、トピックスなどをお知らせするとともに、みなさまに少しでも東洋学園を身近に感じていただけるよう努力してまいります。

今年2012年、東洋学園大学は開学20周年を迎えます。来年度からは人文学部を再編して、グローバル・コミュニケーション学部が新設され、人間科学科が学部昇格して人間科学部が生まれ、これまでの現代経営学部と合わせて三学部体制となります。東洋学園大学は、この20年の間に時代のニーズに応える形で大きく変容し、発展してまいりました。このような本学の今の姿を、卒業生のみなさんにも見守っていただければと思います。



本郷キャンパス フェニックスモザイク「岩間がくれの重花」

さて、2010年5月に初めて開催し、大好評のうちに幕を閉じたホームカミングデー。このたび、11月17日（土）に大学開学20周年を記念して第2回目となる東洋学園ホームカミングデーを開催する運びとなりました。卒業生のみなさまに学生時代を懐かしんでいただくとともに、現在の東洋学園大学の学生諸君の活躍もご覧いただける機会になるでしょう。東洋学園大学の先生方はもちろん、退職された先生方も卒業生のみなさまにお目にかかることを一番の楽しみにしております。ぜひみなさまに足を運んでいただきたいと思います。私も、お会いできるのを楽しみにしています。



流山キャンパス 赤レンガ校舎の落ち着いた佇まい

2013年4月

東洋学園大学の学部・学科が生まれ変わります

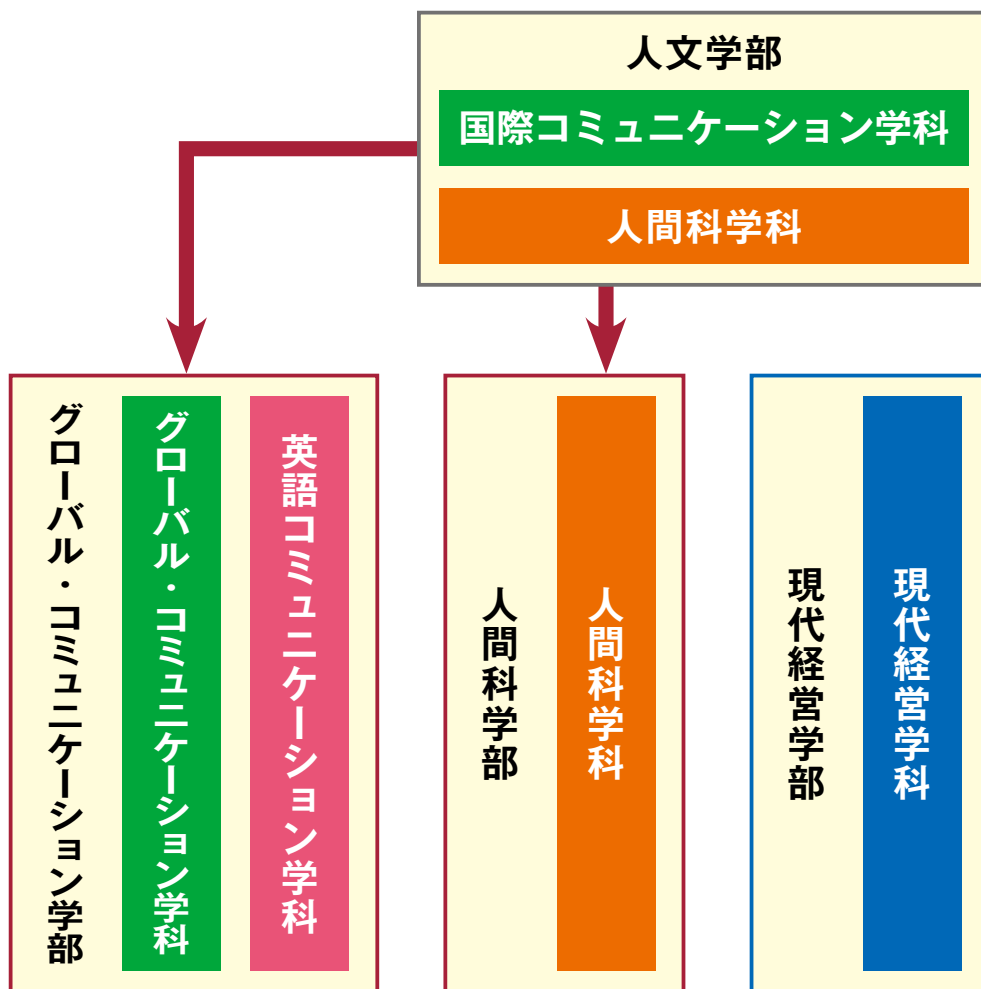
人間力を育てる3学部体制に！
自分が学びたい分野を柔軟に
選択できるシステムです



学長 一ノ渡尚道

東洋学園大学は、2013年度より、個性豊かな3学部4学科体制に生まれ変わります。世界を見据える「グローバル・コミュニケーション学部」、人々の心と健康について学ぶ「人間科学部」（人間科学科からの学部昇格）、入学から5年で修士号を取得できる、ビジネスを学ぶ「現代経営学部」の3つです。

それぞれの学部学科、コースがあり、それぞれ転部、転科、転コースも自由にして、自分が一番学びたい分野の専門を柔軟に選択できるシステムです。現代の主要課題を網羅した17の専門分野のコースから自由自在に選択をし、自ら考え判断し行動できる「人間力」を育てる教育体制を実現していきます。



これまでも、これからも、時代の変化に対応していきます

東洋学園は先人のたゆまぬ努力と優れた識見により、自立した社会人の育成という建学の精神を堅持しつつ、戦争、震災、経済変動などの激しい時流の変化に抗い、時に先取りしてそれぞれの時代に適応したメタモルフォーゼを重ねてきました。

いたずらな規模の拡大を目指さず、小規模で質の高い大学を指向する。校友と心を合わせ、教職員、在学生はこの目的の達成に努めます。



戦前、空襲被災以前の本郷校舎（東洋女子歯科医専）



1961年竣工の本郷旧1号館（東洋女子短期大学）



1967年、流山の初代校舎（現9号館カフェテリアの位置）



2011年3月、流山に3番目のグラウンドが竣工

沿 革

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 1917年 9月 | 東京府本郷区に前身の明華女子歯科医学講習所（後に旧制専門学校）開校 |
| 1926年11月 | 女子歯科医専初の文部大臣指定認可、旧制東洋女子歯科医学専門学校創立 |
| 1947年10月 | 旧制東洋高等学校（旧制大学医学部進学課程／共学）を津田沼校舎に併設 |
| 1950年 5月 | 文京区本郷に新制東洋女子短期大学（英語科、後に英語英文科）開学 |
| 1961年 2月 | 建築家今井兼次による「フェニックス・モザイク」竣工 |
| 1967年 9月 | 流山キャンパス開設（千葉県流山市） |
| 1982年 4月 | 欧米文化学科を設置（流山） |
| 1992年 4月 | 東洋学園大学開学（流山／人文学部英米地域研究学科・英米言語学科） |
| 2002年 4月 | 人文学部人間科学科（流山）、現代経営学部現代経営学科（本郷）を設置 |
| 2004年 4月 | 人文学部学科再編、国際コミュニケーション学科設置 |
| 2007年 4月 | 2学部共通、1・2年次流山キャンパス、3・4年次本郷キャンパスに |
| 2008年 4月 | 本郷に大学院（現代経営研究科現代経営専攻）開設 |
| 2013年 4月 | グローバル・コミュニケーション学部、人間科学部開設、3学部体制へ（予定） |

国境のない現代社会に対応する グローバル・コミュニケーション学部



▲人文学部 阿部一教授
(グローバル・コミュニケーション学部 学部長就任予定)

従来からあった国際コミュニケーション学科が学部に昇格し、グローバル・コミュニケーション学部と名称を改めました。「国際」という名称を冠していましたが、グローバル化が否応なく進んでいる現代、本学の「時代の変化に対応する大学」という理念にのっとり、国境のない現代社会に対応する学部をつくらうということで、発足しました。

グローバル化と言っても経済、政治といった領域だけにとどまらず、文化や社会のあり方を含めたグローバル化が進んでいます。経済や政治を学ぶうえでも、文化を見ることが一番根本で、大事であると考えています。

学部内には、文化・地域研究を通して世界を学び、世界に発信する力を磨く「グローバル・コミュニケーション学科」と、確かな語学力と優れた国際感覚を身につけた真の国際教養人を目指す「英語コミュニケーション学科」を配置します。

現代社会に役立つ人材を育てる 現代経営学部



▲現代経営学部 学部長
井原久光教授

2002年に開設された現代経営学部は、「現代社会を生き抜く力を養い、現代社会に役立つ人材を育てる」ことを目的としています。

1年から4年まで少人数制のゼミを設け、事例を通じて学ぶケーススタディ（事例研究）が最も重要な特色。具体的な物事から考えていくのが一つのポイントです。ケーススタディの中でも本学が近くにある「東京ドーム研究」には力を入れており、実際のドームを教材として分析、クラス内の討論を通じて自分の答えを見つけていきます。

現代経営学科では、経営の4つの基本要素である「人、もの・サービス、お金、知恵・情報」を学びます。

3年次からは学生の興味や将来の目標に向かって企業マネジメントコース、起業ショップ経営コース、広告・マーケティングコース、流通・サービスビジネスコース、金融・ファイナンスコース、経済・政策コースと、6つのコースを用意しています。

人間心理を総合的に理解する 人間科学部



▲人文学部学部長 勝田晴美教授
(人間科学部 学部長就任予定)

これまで人間科学科だったものが人間科学部に昇格します。学部になったことで、これまでの特長、良さを活かしながら新しい学科をつくったり、教職課程や、新しい資格課程など、学部として、独自にできることが増えていきます。

人間科学部には3年次より選択できるコースとして、心理・カウンセリングコース、身体と健康コース、ヒューマン・サービスコース、社会と人間コースの4つがあります。心理カウンセリング

コースは自分と人の心を知り、カウンセリングを学ぶコース。身体と健康コースは人文科学と自然科学の両面から身体と心の健康を推進するコース。ヒューマン・サービスコースは、人により添い、人をはぐくみ、人を支える人間を育成するコース。社会と人間コースは誰もが人間らしく共に生きることが出来る未来をデザインすることを学びます。これらは非常に柔軟なカリキュラムでできていて、コース間の壁はとて低くなっています。自分に必要と感じる講義はコースに縛られることなく、他学部も含めて自由に勉強できます。

NEWS

東洋学園大学と 中国・南京大学金陵学院の国際交流

若手教員相互派遣、学生共同養成プロジェクトを実施

東洋学園大学は、国際交流多様化の一環として、中華人民共和国の南京大学金陵学院との間に、教員と学生の交流を柱とした協定を締結しました。両校はそれぞれ日中両国の友好・親善および平等・互恵の原則のもと、交流事業の実施にあたります。交流の内容は、若手教職員の相互派遣による交流、学生の共同養成プロジェクト、南京大学金陵学院学生の日本研修となっています。

若手教職員の相互派遣として、両大学は、毎回若手教員1名を、相手校に3ヶ月間派遣します。また、金陵学院から毎年4年生を東洋学園大学に留学させます。学生は東洋学園大学で1年間の科目履修を行い、所定の単位を取得した学生には修了証書が授与されます。また、この留学を修了して南京大学金陵学院を卒業した学生には、東洋学園大学大学院現代経営研究科の受験資格が与えられます。

これらのプロジェクトにより、両校の教員の教育・研究能力の向上はもちろん、学部から修士課程まで同大で学んだ中国の優秀な人材が、将来日中両国の友好・親善に貢献することも期待されます。

授業・ゼミ活動 Report

充実する大学ゼミ活動

東洋学園大では、様々なゼミ・授業が行われています。その一部をレポートします！

現代経営学部・井原久光教授のゼミでは、伝統的に地域研究として、本学の近くに位置する東京ドーム研究を行なっています。実際の事例を元にして学ぶケーススタディは本学の特徴の一つでもあり、井原ゼミではメンバーを3つのグループに分けてビジネスさながらのプレゼンテーションを行い、就職に向けて具体的に学んでいます。**人文学部人間科学科・宮園久栄教授のゼミ**では、5月に俳優の原田大二郎氏が来学。詩の朗読を通じて自分の意見を相手に「伝える」ための正しい発声や話し方について学ぶという講義が行われました。これは「人間と犯罪」ゼミで企画している「模擬裁判」に向けた取り組みの一環で、原田氏の熱意あふれる指導に答え学生も一生懸命取り組んでいました。**人文学部国際コミュニケーション学科・泰松範行准教授のゼミ**では、6月に東日本

大震災の復興支援活動のため、宮城県石巻市を訪れました。被災地での取材と、昨年に引き続き熟議イベント「ほえ〜るかふえ」を開催。活発な議論が交わされました。泰松ゼミでは今後も東京、石巻での活動を予定しています。同じく**国際コミュニケーション学科の阿部一教授**は「自然環境論」の集中授業として、毎年青森県で体験学習を行なっています。今年は8名の学生が参加し、世界遺産に指定されている白神山地でウォーキングをしたり、NPOの活動に参加したりと、充実した6日間を過ごしました。



東京ドームを背景に
ケーススタディに励みます（井原ゼミ）



原田大二郎氏による熱意あふれる講義
(宮園ゼミ)



白神山地でブナ林の観察
(阿部教授「自然環境論」)

大学開学20周年を記念して 東洋学園ホームカミングデーを開催します

「大学開学20周年記念・東洋学園ホームカミングデー」が11月17日（土）に本郷キャンパスにて開催されることになりました。当日は大学開学20周年記念行事に引き続き、現在、社会の第一線で活躍されている卒業生による講演や懐かしい先生方による授業、そして在学生による記念演奏を予定しております。

このホームカミングデーが旧友との親交を深め、また先生方との交流の場となれば幸いです。皆様の参加を心よりお待ちしております。



大学開学20周年記念・東洋学園ホームカミングデー

日時 2012年11月17日（土）
11:00～16:00（10:30受付開始）

会場 東洋学園大学 本郷キャンパス

※東洋女子歯科医学専門学校、東洋高等学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学の卒業生およびその関係者の方ならどなたでもご参加いただけます。

※申し込み不要、参加無料です。

11:00～ 開学20周年記念行事 フェニックスホールにて

来賓祝辞 行方昭夫先生（元東洋学園大学学長）
青野賢太郎先生（元東洋女子短期大学学長）
東洋学園大学校歌斉唱

12:00～ LUNCH TIME 体育館にて

※立食スタイル（椅子席もご用意します）

報告「学園の今」、来賓祝辞、東洋学園大学吹奏楽団による記念演奏

13:30～ 記念講演 フェニックスホールにて

稲垣玲子氏（東洋女子短期大学22回生）
鈴木勝氏（東洋学園大学2期生）

15:00～ 記念授業 1号館各教室にて

脇山怜先生（元東洋学園大学人文学部学部長）
日高佳先生（元東洋女子短期大学英語英文科学科長）

16:00 終了予定

その他のプログラム

東洋学園史料室見学、TOGAKUオリジナルグッズ販売、グループ別交流会などを予定しております。
キッズコーナーもありますので、お子様と一緒にお気軽にご参加ください。

募集

クラブ・サークル、ゼミ・クラス単位で参加しませんか？

ご希望の方は校友会事務局までご連絡ください。お部屋をご用意いたします。

退職された先生方もお招きする予定です。
参加される先生の情報、その他最新情報は随時ホームページにて掲載します。

お問い合わせ先

東洋学園校友会事務局

TEL 03-3811-1072

E-MAIL koyukai-info@tyg.jp

ホームページ

<http://tgblog.tyg.jp/koyukai/>

前回のホームカミングデーレポート

前回のホームカミングデーアルバム



校歌斉唱。東洋女子歯科医学専門学校は1950年の開校以来、約60年ぶりの伴奏を伴ったオフィシャルな斉唱です。短大の学生歌もピアノの生演奏は久方ぶり。大学校歌は流山に加えて本郷を詠み込んだ「改変」バージョンです。音楽担当の熊坂牧子先生（兼任講師）がリードします。



主催者を代表し江澤雄一東洋学園理事長のご挨拶（左）、続いて一ノ渡尚道学長のご挨拶。理事長、学長ともこの日を待ち望んでいました。



幅広い年齢層の卒業生に混じって懐かしい先生方の姿も。手前から脇山怜先生（前文学部長）、福田均先生、小林正文先生、松井顯敏先生（元欧米文化学科長）。福田先生は原田規校子副学長とともに流山に東洋学園アーカイブス（現・東洋学園史料室、本郷）を立ち上げ、『東洋学園八十年の歩み』の編集委員長を務めた“東洋学園 Old School Tie”の提唱者です。



懇親会は原田規校子副学長のご挨拶からスタート。大学副学長というより多くの短大卒業生にとっては短大の先生、最後の学長でしょう。今日のために一ノ渡学長とお二人で、半年に亘り準備と指導にあたってきました。



乾杯の発声は今参加者の最高齢、歯科医専昭和8年卒の森シヅノ様をお願いしました。97歳でこの背筋の通った立ち姿です。4年前までは鹿児島県出水市で現役の歯科医師をなさっていました。この日は長崎県島原市から駆けつけていただきました。（※）



約30分の歓談タイムの後はアトラクションがスタート。短大卒業生にはフェニックス祭でお馴染み、地元大横丁商店街の吉岐坂太鼓が先頭を切ります。本郷での学園祭開催がなくなつてからは流山で演じていただいています、大学卒業生の方は初めて見る方が多かったのではないのでしょうか。



お次は現在の東洋学園大学で最大規模のサークル、EXTREME☆STEPPERSのダンスパフォーマンスです。写真は女子によるガールズヒップホップ、男子はロックとポップ2曲を披露してくれました。



短大時代に実力・実績のあった部活動の一つ、競技ダンス部（旧舞踏研究部）。今日はOGの佐藤悦子様（英語英文科25回生／旧姓・岸・小川芳彦様（日本大学OB）ペアのデモンストレーション。一曲目はスタンダード種目・ワルツです。



午後2時から特別授業の開講です。1コマ40分、学生時代に戻って授業を受けるのも新鮮な体験ですね。まずは本学名誉教授、大学第二学長行方昭夫先生（による「サマセット・モームの人間観」です。このあと、3時からモームの人間観。行方先生の授業から満席でらの英語教育。行方先生の授業から満席でしたが、この時限ではついに立見が出ました。



こちらは青森・福島・新潟・沖縄各県人会合同の地方物産直売コーナーです。屋台までしつらえて終始賑わっていました。本学の学生は南関東中心ですが、東北6県と新潟、それに沖縄から例年、一定数の入学があります。田子町のニンニク（青森）、喜多方ラーメン（福島）、笹団子（新潟）、ゴーヤの苗（沖縄）などが好評でした。

（※）森シヅノ様は本年5月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

前回のホームカミングデーは大盛況のうちに終了

2010年5月29日（土）、本学初めてのホームカミングデーを開催しました。

ご来場下さった380名の東洋女子歯科医学専門学校・東洋女子短期大学・東洋学園大学卒業生の皆様と懐かしい先生方、近況や欠席をお知らせ下さった方、遠くから見守って下さった方、全ての

東洋学園卒業生の方に心より御礼申し上げます。

ここでは、写真を見ながら前回の様子を振り返り、お越しいただいたみなさまに懐かしんでいただき、また残念ながらお越しいただけなかったみなさまにも、母校での初めてのホームカミングデーの姿をお楽しみいただければ幸いです。

そしてこのたび、2年の時を経て、今年11月17日に第2回目のホームカミングデーを開催することとなりました。初開催でみなさまに喜んでもらった前回以上に、内容を充実させてお待ちしております。ぜひ、今から楽しみにしてください！

第1回 東洋学園ホームカミングデー報告

来場者数

東洋女子歯科医学専門学校23名、東洋女子短期大学232名、東洋学園大学卒業生75名、同行者28名、退職教職員22名、合計380名

会場

東洋学園大学 本郷キャンパス1号館

社会で輝く卒業生たち

安生信子さん



東洋女子歯科医学専門学校卒

安生(旧姓:儀武) 信子(あんじょう・のぶこ)
1939年旧制東洋女子歯科医学専門学校卒業。歯科医師。勤務医を経て、父君の創設した儀武歯科医院を継ぎ、現在も院長を務める。末の妹である久子さんも同校の卒業生。医業のかたわら一男一女を育て上げ、現在は各分野で活躍する孫や甥、姪を見守る日々。

1918(大正7)年の生まれである安生さんは、早くに父親を亡くされ、若いうちから歯科医師として4人の弟妹を養いました。8月に94歳のお誕生日を迎えられた今なお、高円寺駅近くの歯科医院で、現役の歯科医師として働かれています。

奈良玲子さん



東洋女子短期大学卒

奈良玲子(なら・れいこ)
1986年東洋女子短期大学英語英文科卒業。卒業後は銀行勤務を経て再度フライトアテンダントに挑戦し、就職。イスラムの社会、文化に魅せられ、勤務を続けながら放送大学で学士号・修士号を取得し、現在はイラン・テヘラン大学で学びながら日本語教師としても働いている。

紆余曲折を経てイラン航空に就職、憧れていたフライトアテンダントになった奈良さん。日本とイランを行き来する中でイスラムの社会、文化をもっと学びたくなり、フライトの合間に放送大学で学士号、修士号を取得。現在もイランの大学院で学んでいます。

武井寛さん



東洋学園大学卒

武井寛(たけい・ひろし)
1999年人文学部英米地域研究学科卒業。東洋学園大学兼任講師。ほか2つの大学にも兼任講師として勤務。本学を卒業後、筑波大学大学院地域研究研究科に進学、1年間のアメリカ留学を経て2002年に卒業。2003年に一橋大学大学院へ進学、現在も博士後期課程に在学。

武井さんは、中学の頃からバスケ少年で、スポーツジャーナリストに憧れていたそうです。しかし、東洋学園大学で学ぶなかで、本当に興味があるのはアメリカの歴史だと気づき、必死に勉強。念願のアメリカ留学も果たし、現在も研究に励んでいます。

藤田めぐみさん



東洋学園大学卒

藤田めぐみ(ふじた・めぐみ)
1997年人文学部英米地域研究学科卒業。認定NPO法人 特定非営利活動法人ジェン プログラム・オフィサー。一般企業を経て青年海外協力隊(JICA)と国連ボランティアとしてNGO勤務ののち2012年から現職。現在は開発途上国の支援活動に従事している。

大学ではアメリカ社会における人種差別について学んだ藤田さん。卒業後は企業で経験を積んだのち、青年海外協力隊で感染症予防対策に取り組みました。この夏からは、環境整備と学校を復興させるプロジェクトの担当としてイスラマバードに行くそうです。

宮崎雅子さん



東洋学園大学卒

宮崎雅子(みやざき・まさこ)
1998年人文学部英米言語学科卒業。学生時代からバックパッカーとして各国を旅し、写真を撮り始める。日本語教師として働きながらアメリカ・カナダ・日本で写真を学び、2011年、初の写真集『The Other Side』を出版するなど、現在は写真家として活躍中。

もともと海外や異文化に興味があったという宮崎さんの初めての一人旅は東洋学園大2年生の頃。夏休みにバックパッカーでエジプトを旅し、旅の思い出を残すことができないかと、写真に興味を持ち始めたことが現在の活動のきっかけとなっているそうです。

佐藤昌治さん



東洋学園大学卒

佐藤昌治(さとう・まさはる)
2011年人文学部人間科学科卒業。株式会社エイチ・アイ・エス 東日本販売事業部 関東北エリア 池袋本店営業所勤務。大学3年の頃、就職活動の準備として国内旅行業務取扱管理者資格と総合旅行業務取扱管理者資格を取得し、旅行社に就職。

佐藤さんは、大学4年の冬に「鑑真杯中国語スピーチコンテスト」の優勝経験を持ちます。大学3年の頃から国家資格である国内旅行業務取扱管理者と総合旅行業務取扱管理者の資格を取得し、就職1年目はアジア圏を担当。現在は世界各地への旅行を扱っています。

クラブ・サークル活動 R e p o r t

いま、運動部がアツイ!!

強豪テニス部は今年也大活躍!

今年の4月から5月にかけて行われた平成24年度関東学生テニストーナメント大会(春関)。女子テニス部からは全16名のうち5名がシングルス本戦に進出。中でもダブルスの小石・濱野組はベスト8入りとインカレ(全日本学生テニス選手権)のダブルス本戦出場を決める大活躍。インカレ本選では2回戦で筑波大のペアに敗れましたが、大きな一歩となりました。チームとしてもリーグ2部昇格を目指します。

男子テニス部も今年に入ってチーム力を増しており、春関2次予選に進む選手を数多く出すなど、年々レベルアップ。リーグ戦3部昇格も現実的になってきました。



インカレ出場と大活躍をした女子テニス部。2部昇格を目指して頑張っています!



激戦区で健闘を続ける男子テニス部。各選手の持ち味が伸び、今後が楽しみです!

野球部は加盟直後に3部昇格!

2012年度より東京新大学野球連盟に加盟した硬式野球部が、4部春季リーグにて優勝! 入替戦にも勝利し、3部昇格を果たしました!

4月11日から始まった東京新大学野球連盟の春季リーグは、全4部制で各部門ごとに6大学で優勝を争い、優勝校は上部進出をかけて入替戦に臨みます。入替戦の相手は東京外国語大学。第1戦はエース・葛野が好投し6-5の僅差で勝利。2戦目は小雨の降る中、延長11回を凌ぎ、見事勝利をつかみ取りました。

2年生4名、1年生11名の若いチーム。今後も応援をよろしくお願いいたします!



健闘を讃え、野球部には理事長賞が贈られました。写真は江澤理事長と柿沼キャプテンです。



参加早々の昇格を果たした野球部のメンバーたち。これからも応援よろしくお願いいたします!

東洋学園大学大学院 現代経営研究科現代経営専攻修士課程

本研究科の特色



アクセスのよい本郷で経営学修士を取得



ケーススタディに重きをおいた実践教育

※ 東洋学園大学・東洋女子短期大学の出身者には、
入学金の免除に加え、働きながら学べるよう平日の
18時以降や土曜日にもフレキシブルに開講します。

現代経営研究科について

東洋学園大学は、2002年に現代経営学部を設立、現代社会に役立つ生きた経営学を教えてきましたが、さらに専門性と高度な知識を持つ職業人を育成するため、2008年に大学院現代経営研究科を設立しました。

本大学院では、十分な研究実績を有する教員と、企業における豊富な実務経験を有する教員が連携して、ビジネススクールをモデルにしたケーススタディを取り入れながら始動しています。



東洋学園大学大学院 現代経営研究科 研究科長 鎌田信男

大学院進学は、自己革新と
キャリアアップへの第一歩でした。



萩原志帆さん

東洋学園大学大学院
現代経営研究科修了
アディダスジャパン(株) 勤務

効率よく学べる5年一貫プログラム
知識も、就活も差がつかしました。



大城俊彦さん

東洋学園大学大学院
現代経営研究科修了
みずほインベスターズ証券(株) 勤務

修了後の主な就職先の例

左記のケース以外に、富士フィルム株式会社、藍澤證券株式会社、その他の民間企業やNPO法人などで活躍しています。

現代経営研究会

企業の皆様と本学教員との相互研鑽、交流を通じ、現代の経営諸課題について研究し、生きた経営ノウハウを蓄積したいと考え、2008年に大学院創設と同時に「現代経営研究会」を発足致しました。本研究会は、無料でなたでもご参加いただけます。詳細はHPをご覧ください。

＜今年度の活動予定＞ ▼聴講無料、予約不要ですので、ふるってご参加ください。
お問合わせ：東洋学園大学総務課 TEL：03-3811-1696

2012年 9月19日 (水)	花王株式会社 元会長 後藤 卓也氏 演題：「花王の経営を担って考えたこと」	11月28日 (水)	トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長 張 富士夫氏 演題：「トヨタ自動車のグローバル経営戦略」
10月10日 (水)	株式会社ファンケル 代表取締役 会長執行役員 宮島 和美氏 演題：「ファンケルの商品戦略と事業展開」	12月19日 (水)	インテル株式会社 元会長 傳田 信行氏 演題：「インテルの決断」
11月7日 (水)	東レ株式会社 元広報宣伝部長 遠入 昇氏 演題：「未知の分野に挑戦する繊維産業」	2013年 1月23日 (水)	株式会社資生堂 元執行役員専務 阿部 貞夫氏 演題：「資生堂海外事業の38年間を通して」

学園へのご支援をお願いいたします！

本学が今後、大学としての公共性と私立大学としての独自性を高めつつ、高等教育機関として社会に有為な人材を育成していくために、募金活動へのご支援をお願い申し上げます。

お問い合わせ先

学校法人東洋学園法人本部

〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3

TEL 03-3811-1731

FAX 03-3811-5088

寄付金種別一口 1万円 ※金額の多寡に関わらずありがたくお受けします。

申し込み・払い込み方法

- 1. 申し込み方法**
ご協力くださる方は所定の寄付申込書にご記入いただき、ご郵送願います。寄付申込書は、HPからダウンロードいただけます。税制上の優遇措置を受けることができます。
- 2. 払込方法**
払込方法は、「現金振込」と「クレジットカード振込」の2種類がご利用いただけます。お申込の際に、申込書にて振込方法をお選びください。「現金振込」をご希望の方は、本学より送付いたします所定の振込用紙（銀行・郵便局）でお振込みください。金融機関からの入金通知を受けた後、大学より領収書をご送付申し上げます。

Information



「東洋学園大学 presents meets THE WORLD」

東洋学園大学のセーラ・ルイーザ・バーチュリ先生が出演し、文化放送の石田絵里奈アナウンサーと一緒に国際性をテーマにお送りするラジオ番組です。イギリス・ウェールズ出身のセーラ先生とアメリカ育ちの石田絵里奈アナウンサーが繰り広げる異文化トーク番組。日本とイギリスやアメリカの習慣の違い、文化の差などを楽しくフォーカスするのはもちろん、国際性、英語力などを軸に、ゲストやリスナーとのやり取りを通して外国文化や世界の動きも語っちゃう健全な教養番組です！

番組情報

文化放送 (JOQR 1134kHz) Twitter @meetstheworld

毎週土曜日 6:40 ~ 6:50 <http://www.meetstheworld.net/>

パーソナリティ紹介

セーラ・ルイーザ・バーチュリ

東洋学園大学准教授。
1980年6月6日、イギリス・ウェールズ生まれ。
2006年より東洋学園大学で教鞭をとる。
趣味は自転車旅行、温泉、アメリカ・日本のアンティーク（主に看板）収集、歌など。
現在、都内在住。東京の下町情緒、あたたかさをこよなく愛する。



石田絵里奈

文化放送アナウンサー。1986年1月23日、アメリカ・カリフォルニア州出身。2010年8月より文化放送に入社。好奇心旺盛な性格で、今後は色々な事に挑戦したいと考えている。趣味はフルート、筋トレ、ケーキ作り。



校内イベントのお知らせ

フェニックス会

2008年より、東洋女子短期大学同窓会会員の相互交流と学びの場として、フェニックス会を行っております。

第6回 フェニックス会のご案内（東洋学園大学 緒緒祭にて開催）

日時 2012年10月20日（土）14:00 ~ 15:00

場所 流山キャンパス 9号館2階 9201室

講演題 「すべてはことばから始まる」

講演者 日高 佳先生（元東洋女子短期大学教授）

参加費 無料

東洋学園大学在学学生、卒業生の方、一般の方もご参加いただけます。
みなさまお誘いあわせの上、どうぞお出掛けください。

緒緒祭

日時 10月20日、21日

場所 流山キャンパス

今年も学園祭「緒緒祭」が開催されます。同窓生の広場（8301教室）には、21日11:00 ~ 15:00に先生方が多数ご来室される予定です。どうぞご参加ください。

公式 Facebook ページ始めました！

アカウントをお持ちの方は [いいね！](#) してください。

<http://www.facebook.com/toyogakuen>

学内施設利用について

図書館利用のご案内（本郷・流山）

卒業生も本学図書館を利用することができます。
登録は無料。ご登録の際は卒業を証明するもの（学位記またはそのコピー、大学からの郵便物、卒業証明書等）をお持ちください。

【利用できるサービス】 閲覧、文献複写、貸出（図書のみ3冊まで、期間:2週間）
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。<http://www.lib.tyg.jp/>

史料室のご案内（本郷）

東洋学園旧設置校に関する史料をご覧ください。
本郷にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

【場所】 本郷キャンパス 4号館6階

【開館日】 月～金曜日

9:30 ~ 16:30

詳しくは史料室ホームページをご覧ください。<http://www.tyg.jp/tgu/toyo/archives.html>

各種証明書の発行等について

卒業した学校により、お取り扱いするキャンパスが異なります。

各種証明書の発行（卒業証明書、成績証明書、単位修得証明書など）

東洋女子短期大学	英語英文科	本郷キャンパス 電話03-3811-1696 (代)
	欧米文化学科、英語コミュニケーション学科	流山キャンパス 電話04-7150-3001 (代)
東洋学園大学	流山キャンパス	電話04-7150-3001 (代)
	本郷キャンパス	電話03-3811-1696 (代)
個人情報の変更手続き		
東洋女子歯科医学専門学校	東洋学園史料室	電話03-3811-2840
東洋女子短期大学	東洋女子短期大学 同窓会室	電話03-3811-5102（開室日 毎月第1・3水曜日）
東洋学園大学	東洋学園大学 同窓会室	電話04-7150-3204（開室日 毎週木曜日）
東洋学園大学大学院	本郷キャンパス	電話03-3811-1696 (代)

※詳しくは東洋学園大学公式ホームページ「お問い合わせ」をご参照ください。

東洋学園大学入学金免除制度のお知らせ

在校生、卒業生の親族大歓迎!!
入学金が免除になります！

対象

本学在学学生及び本学園卒業生のご親族（二親等以内）が本学に入学される場合、入学金を免除する制度を設けております。
※人数の制限はありません

免除額

入学金300,000円

本学在学学生及び本学園卒業生のご親族（二親等以内）が本学に入学される場合、入学金を免除する制度を設けております。

申し込み
手続方法

まずは東洋学園大学 入試室まで入試要項をご請求ください。
☎0120-104-108
出願書類とともに下記の**必要書類**※をご提出ください。

※必要書類

- (1) 入学金免除申請書（本学所定用紙）
- (2) 本学園を卒業したことを証明する書類（卒業証明書・卒業証書の写しなど）
- (3) 入学者と本学在学学生・本学園卒業生との親族関係が確認できる書類
健康保険証の写し、あるいは住民票（世帯主との続柄が記載されたもの）

校友会事務局より

校友会事務局は、東洋学園（東洋女子歯科医学専門学校、東洋高等学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学）の同窓生、在学学生および教職員など、本学園にゆかりのある皆様（校友）同士の絆を深めていくよう、2012年4月に設置されました。今後、様々な情報発信や企画を行ってまいります。

☆メルマガ登録のお願い

校友会事務局では、全ての校友の皆様に大学の最新情報をお届けします。このたび登録用紙を同封いたしましたので、この機会にぜひご登録をお願いいたします。
※校友会事務局ホームページからでもご登録いただけます。
今後、ホームカミングデー、緒緒祭（学園祭）最新情報などをお知らせいたします。

校友会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3
東洋学園大学 本郷キャンパス1号館2階事務局 室内

TEL 03-3811-1072

E-MAIL koyukai-info@tyg.jp

ホームページ <http://tgblog.tyg.jp/koyukai/>